

「第22回オゾン層保護・地球温暖化防止大賞」に5件

「第22回オゾン層保護・地球温暖化防止大賞」（経済産業省・環境省後援、日本冷媒・環境保全機構協力）の受賞者が決まった。先駆性、温暖化防止効果、貢献度、将来性などを厳正に

審査し、経済産業大臣賞1件、環境大臣賞1件、優秀賞2件、審査委員会特別賞1件の計5件を選定した。受賞したテーマ、企業名、概要は以下の通り。
(1面参照)

優秀賞

「産業用CO₂冷凍機の開発と普及」

二酸化炭素(CO₂)単独冷媒を採用した産業用冷凍機を開発、冷凍冷蔵庫や食品工場などに約120台を納入した。CO₂は臨界温度が31度Cと低く、猛暑日が多い日本では冷凍能力が低下し実用化が難しいとの指摘もあつ

日本熱源システム

たが、欧州メーカーから導入した技術をもとに5年がかりで課題を解決。フロン冷媒冷凍機に比べて消費電力を年間24%、CO₂排出量を同64%それぞれ削減した。空冷式で災害時にも強く水道料金はほとんどかからない。

日刊

THE NIKKAN

工業

KOGYO SHIMBUN

新聞

9月2日月曜

2019年(令和元年)